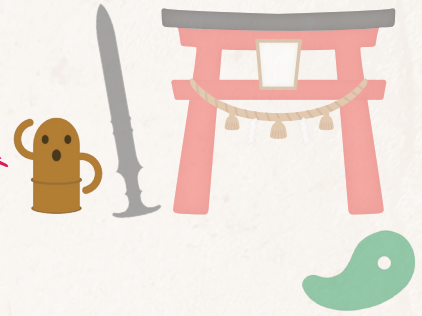


郷土を知る 昔々の そお市

第68回



戦後80年を振り返る

生涯学習課 文化財係 ☎ 0986-76-8873

戦

後80年の今年は全国各地で関連行事や企画展などが開催され、過去を振り返り平和への誓いを新たにする年でもありました。

市でも戦争遺跡巡り・戦後80年歴史講演会・桂竹丸講演落語会・ミニパネル展・戦争遺跡リーフレット刊行などを実施しました。

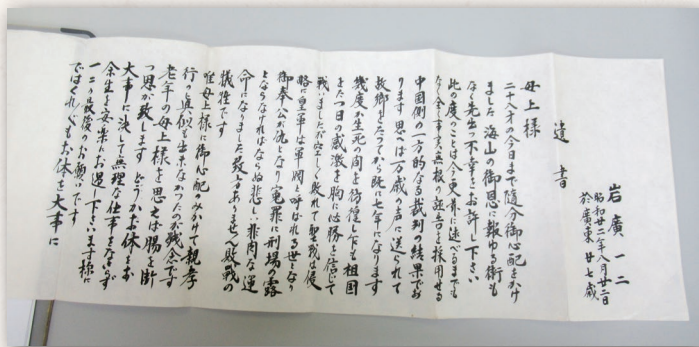
また、これまで戦争に関する情報収集の結果、新たな資料提供や発見も多々ありました。

例えば、今回のリーフレットで使った芙蓉部隊長の美濃部正氏の写真は、遺族よりご提供頂いた初出のものです。また財部青年学校日誌（今年の市報8月号で紹介）も初出の資料でしたが、当時の生々しい記録が多々ありました。

また、戦争の犠牲者の一人である大隅町月野岩元出身の岩廣一二という方は、戦争終結後の昭和22年（一九四七）8月22日、中国の広東でB級戦犯として処死しました。B級戦犯とは、現場での戦争犯罪行為に参与したとして裁かれた人たちのことを指し、その中には冤罪や不当な判決を受けた人もいたそうです。

一二氏の遺品は、市外在住の高校3年生の遺族が所有しており、中国で行われた裁判資料や、母・妻・子・親戚一同へ宛てた遺書などがあります。この遺書は「世紀の遺書」（昭和28年刊行）にも掲載

母宛ての遺書



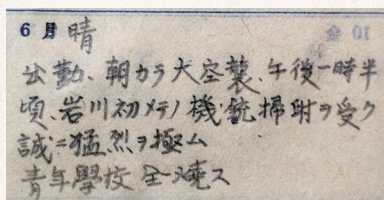
されており、曾於市立図書館本館で借りることができます。

遺族によると、これまで複数回テレビなどにも取り上げられたそうですが、戦争は終わったのに故郷に戻れないまま、一方的な裁判で無念の死を遂げた人もいたという事実があることを、多くの人に知って欲しい、また語り継いでいきたいとの思いで、この度、情報提供がなされたところでした。

戦後80年。ぜひ、この遺書をご覧頂き、家族に対する思い、戦争の悲惨さ、愚かさを感じとって欲しいと思います。

曾於市史編さん情報局

曾於市にゆかりのある資料・写真・情報をお持ちの方は生涯学習課までご連絡ください。



個人蔵の手帳

最近、戦争関連の新たな情報提供がありました。昭和20年8月6日に曾於市で空襲があったことを裏付ける資料です。手帳や日誌類は、当時の様子を知る貴重な手掛かりになりますので、もしお持ちの方はお知らせください。

安藤広道教授による 戦後80年歴史講演会

